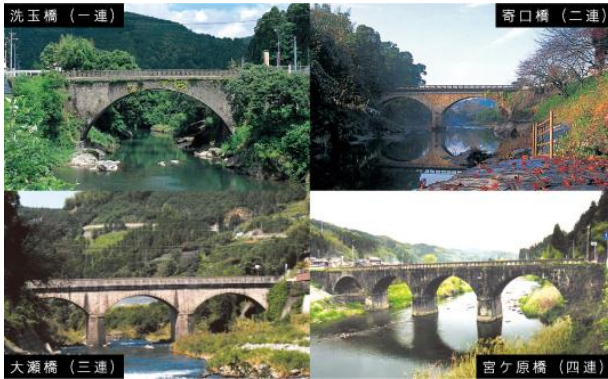


拡大版 上陽よかとこ発見 第32回 「ひふみよの謎」



写真は「八女市茶のくに観光案内所」のホームページより

今回は昨年に引続き、夏休みスペシャルバージョンです。

昨年は「北訥って何？」と題して「北訥」の文字に隠された秘密をご紹介しましたが、今回は上陽町が誇る(その割にはあまり知られていない)「ひふみよの橋」に関する謎について書きたいと思います。

知っている人は知っているのですが、上陽町にはひふみよと呼ばれる4つの橋があります。

- 一(ひ)…洗玉橋(かの橋本勘五郎が作った一連の橋、上陽の石橋のルーツ、1893年)
- 二(ふ)…寄口橋(桜やホテルの名所でもある二連の橋、一番の観光名所、1920年)
- 三(み)…大瀬橋(美しいのにきれいに見える場所を探すのに苦労する三連の橋、1917年)
- 四(よ)…宮ヶ原橋(北部豪雨の時に完全に水没しても流されなかった四連の橋、1922年)

それぞれの石橋単体でも文化的な価値は相当高いと思いますが、それがシリーズ物として成立しているという事実はまさに奇跡だと思います。いつ、だれが「ひふみよシリーズ」を考え、制作したのか？

結論から言うと、いろんな文献を探したのですが、その経緯については見つけきれませんでした。考えられるのは川幅の問題で、当然下流に行くにしたがって広がるので連数も多くなった、というものです。しかし、洗玉橋32.5m、寄口橋41m、大瀬橋45.5m、ここまではわかるのですが、宮ヶ原橋は46mと大瀬橋とほとんど差がありません。

ここからは**私の勝手な推理**ですので、関係者の皆様、間違っていたらご容赦ください。

橋の架かった順番と石工に注目してみました。順番については、①洗玉橋→②大瀬橋→③寄口橋→④宮ヶ原橋となります。石工の棟梁については、洗玉橋は橋本勘五郎と萩本卯作、大瀬橋は萩本卯作、寄口橋は山下佐太郎、宮ヶ原橋は豊島虎次郎と文献にあります。橋本勘五郎と弟子の萩本卯作はまさに一子相伝の種山石工であり、この地に石橋の技術をもたらした人たちです。彼らが、まずは一連と三連の華麗な石橋を架けてみせた。その間種山石工から(本来一子相伝であり決して他に漏らさない)技術を受け継いでいった中の一人、地元出身の山下佐太郎が、尊敬する橋本勘五郎がかつて築いた皇居二重橋を模して二連の寄口橋を作った。この時点で偶然にも？一二三(ひふみ)が完成するわけです。そして、宮ヶ原橋を建設するとなった時に、設計を担当した豊島虎次郎が「1、2、3ときたら、そりゃ4でしょうよ！3でもできるんだけども。」と考えた。なにせ今よりもずっと先輩後輩の関係が強かったでしょうから、先人へのリスペクトも相当強かったと想像されます。

こうしてめでたく「ひふみよ」が完成した。というのが私の説です。この説が正しいかどうかは甚だ怪しいのですが、もし正しければ昔の職人さんたちの腕と洒落っ気は「ハンパない」と思います。

中体連筑後地区大会がありました！

Web版につき
画像を加工しています

7月14日(土)に吉井中にてバレー部が、また7月21日(土)、22日(日)に筑後広域公園体育館にて剣道部が、筑後地区中学校総合体育大会に出場しました。連日猛暑日が続く中、両大会ともに、酷暑の体育館の中で競技が行われました。

出場したバレー部、剣道男子団体の部、剣道男女個人の部ともに残念ながら県大会出場は叶いませんでした。しかし、試合に出ている、出していないに関わらず、部員全員で全力を尽くし、一丸となって頑張ってくれました。

さらに、生徒のみならず、本校保護者の皆様の応援の態度等についても「大変素晴らしかった」との言葉をいただいています。本校としても大変誇らしいことです。ありがとうございました。

夏休み補充学習会をしました！

7月23日(月)から26日(木)までの4日間、夏休み補充学習会を行いました。4年生から9年生まで学年によって多少形態は違いますが、基礎・基本の学習内容の定着及び学力向上を図ったり、夏休み期間の家庭での自主学習を充実させたりすることを目的として行われました。与えられた課題に取り組んだり、各自思い思いの学習に取り組んだり、日頃あまり関わる機会の多くない他科の先生方に質問をしたりと、それぞれに意欲的に補充学習に取り組む姿が見えました。夏休みは自由時間が多い分、その後の成績に大きく影響してきます。家庭でも学習習慣づくりをお願いします。

Web版につき
画像を加工しています

多くの自治体から本校に視察に来られています！

現在全国には72校、福岡県には2校の義務教育学校があります。これらの学校には、新しい学校種ということで、導入を検討している多くの自治体から、義務教育学校の現状や課題について大きな興味を持たれている状況です。

本校においても例外ではなく、多くの自治体から注目をいただき、視察の申込みをお受けしています。本年度については、現在のところ、富山県南砺市議会様、宮崎県木城町教育委員会様、鳥取県江府町教育委員会様、福岡県朝倉市コミュニティ事務局長会様、大分県国東市教頭会様、国立教育政策研究所様、山梨県甲州市議会様、福岡県福智町教育委員会様などから視察の申込みをいただいたところです。

視察でいらっしゃった皆さんに私が必ず申し上げる義務教育学校のよさがあります。それは、1年生から9年生まで一緒に生活する学校でなければ味わうことの出来ないよさがあること、従来の小・中学校では不可能なことで学校運営上の工夫次第で可能になること、の2つです。今はまだ少数派の義務教育学校ですが、これから徐々に増えていくのは間違いありません。その時によき事例として語られる対象であるように、義務教育学校のよさを十分に生かしていきたいと思えます。

校長プレゼンツ 昼休みミニコンサート

9月21日(金) 13:20~13:40
上陽北納学園 北納ホールにて

ピアノ

山ノ内貴一郎・歩さん

